

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第1回)

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター165万件に対して調査対象の要件確認を行い、これに応じた68万件(先着順)のうち平成24年3月から平成24年6月の間に民間住宅ローンを借入された方1,969件に、インターネットによるアンケート調査(6/8~6/15)を実施し、各月毎に先着順に回答があった民間住宅ローン利用者1,185件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者188件について集計を行った。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n= 1, 185)
うちフラット35利用者 n= 188
うちフラット35以外 n= 997

- ・平成24年3月から平成24年6月までに民間住宅ローンを借入れされた方
- ・居住用の新規の民間住宅ローン(借換え・リフォーム・土地のみの融資・アパートや投資用のローンは除き、フラット35は含む。)
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方(学生、無職は除く。)

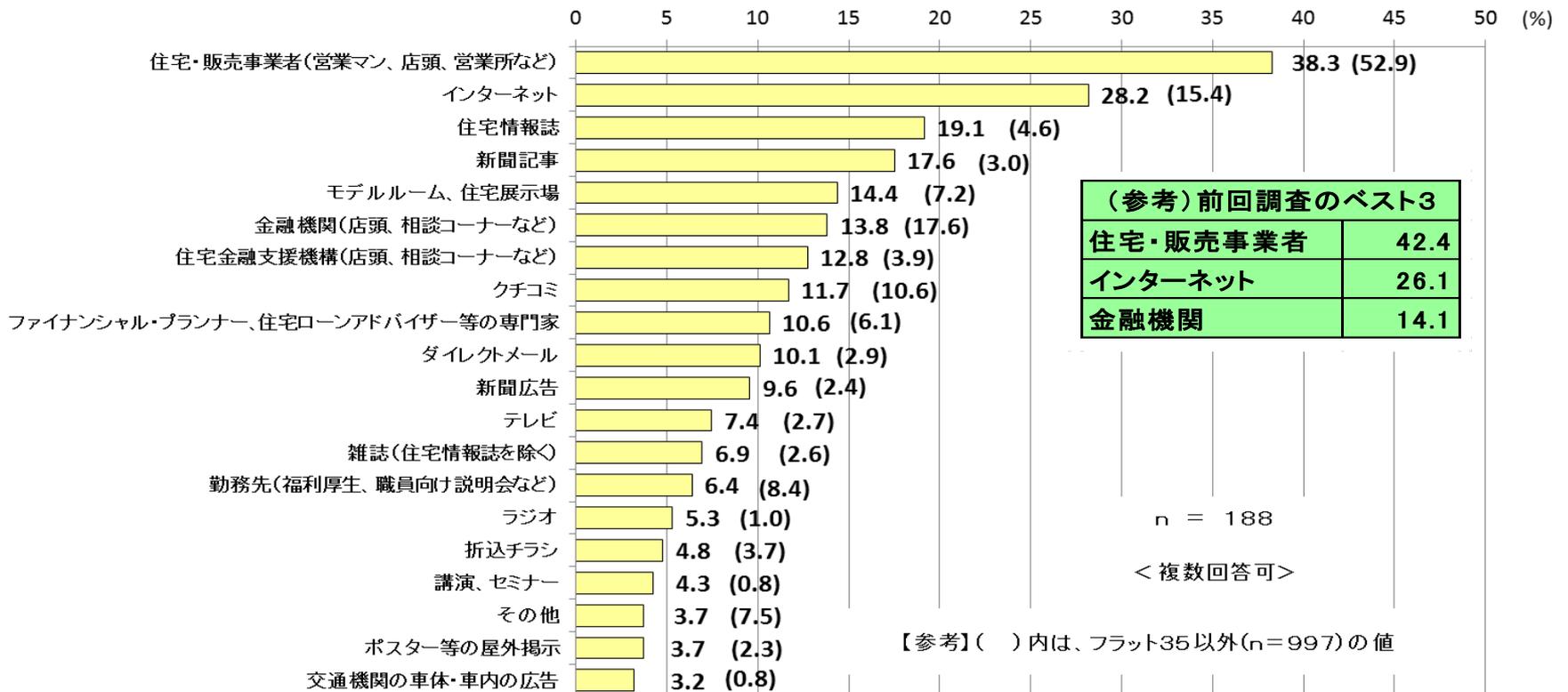
3. 調査時期 平成24年6月8日~6月15日

4. 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選びに関する事項等

1. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

- フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」が38.3%と最も高く、次いで「インターネット」(28.2%)、「住宅情報誌」(19.1%)となっている。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「新聞記事」、「住宅情報誌」、「インターネット」等の割合が高くなっている。

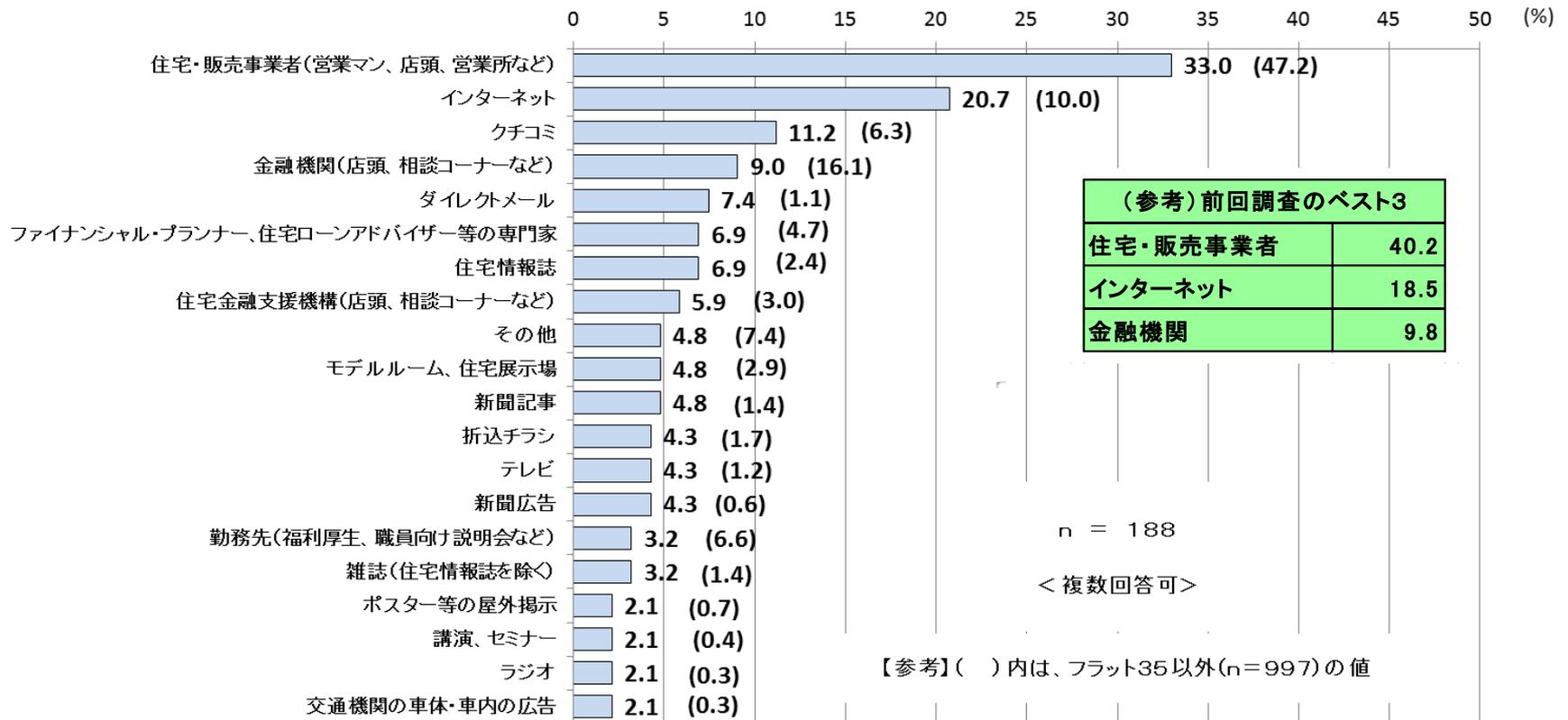
フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等



2. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

- フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」が33.0%と最も高く、次いで「インターネット」(20.7%)、「クチコミ」(11.2%)となっている。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「ダイレクトメール」、「クチコミ」等の割合が高くなっている。

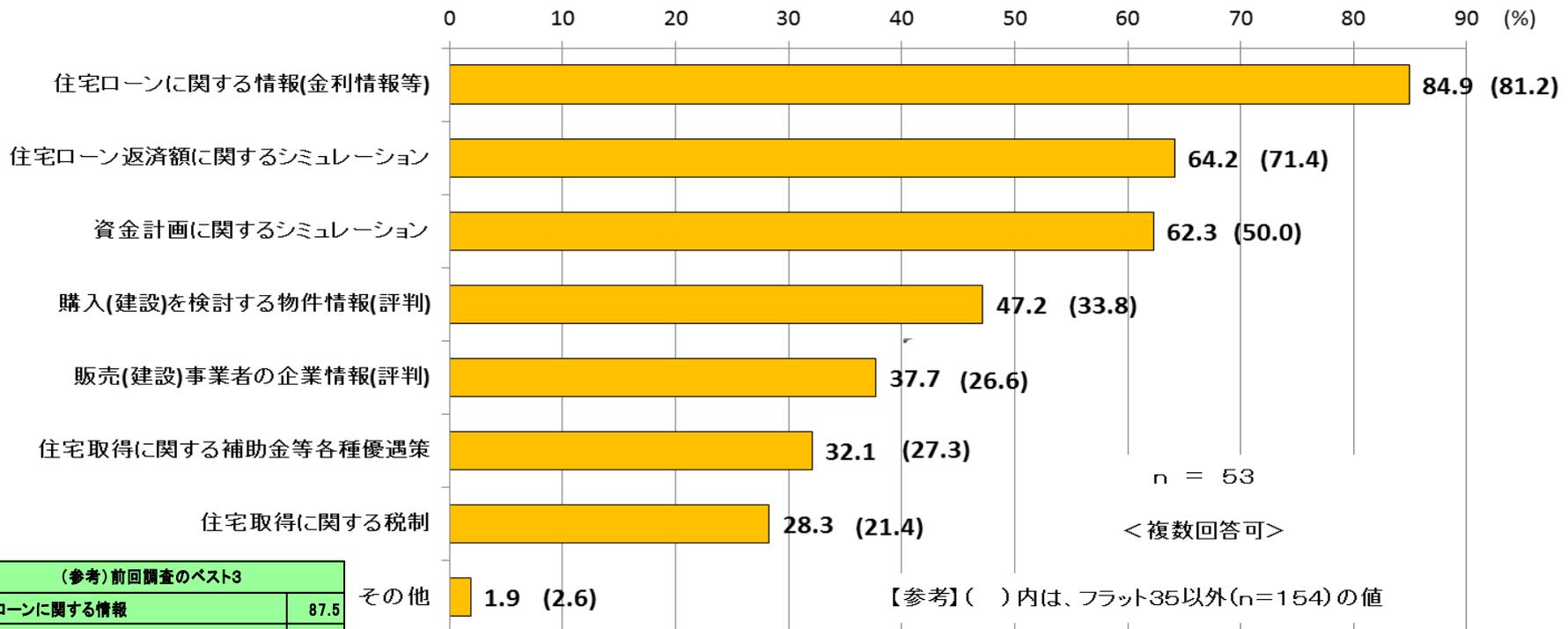
フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等



3. インターネットで収集した住宅関連情報

○ 住宅ローンを知るきっかけが「インターネット」の方に収集した情報を尋ねたところ、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」が84.9%と最も高く、次いで「住宅ローン返済額に関するシミュレーション」(64.2%)、「資金計画に関するシミュレーション」(62.3%)となっている。

インターネットで収集した住宅関連情報

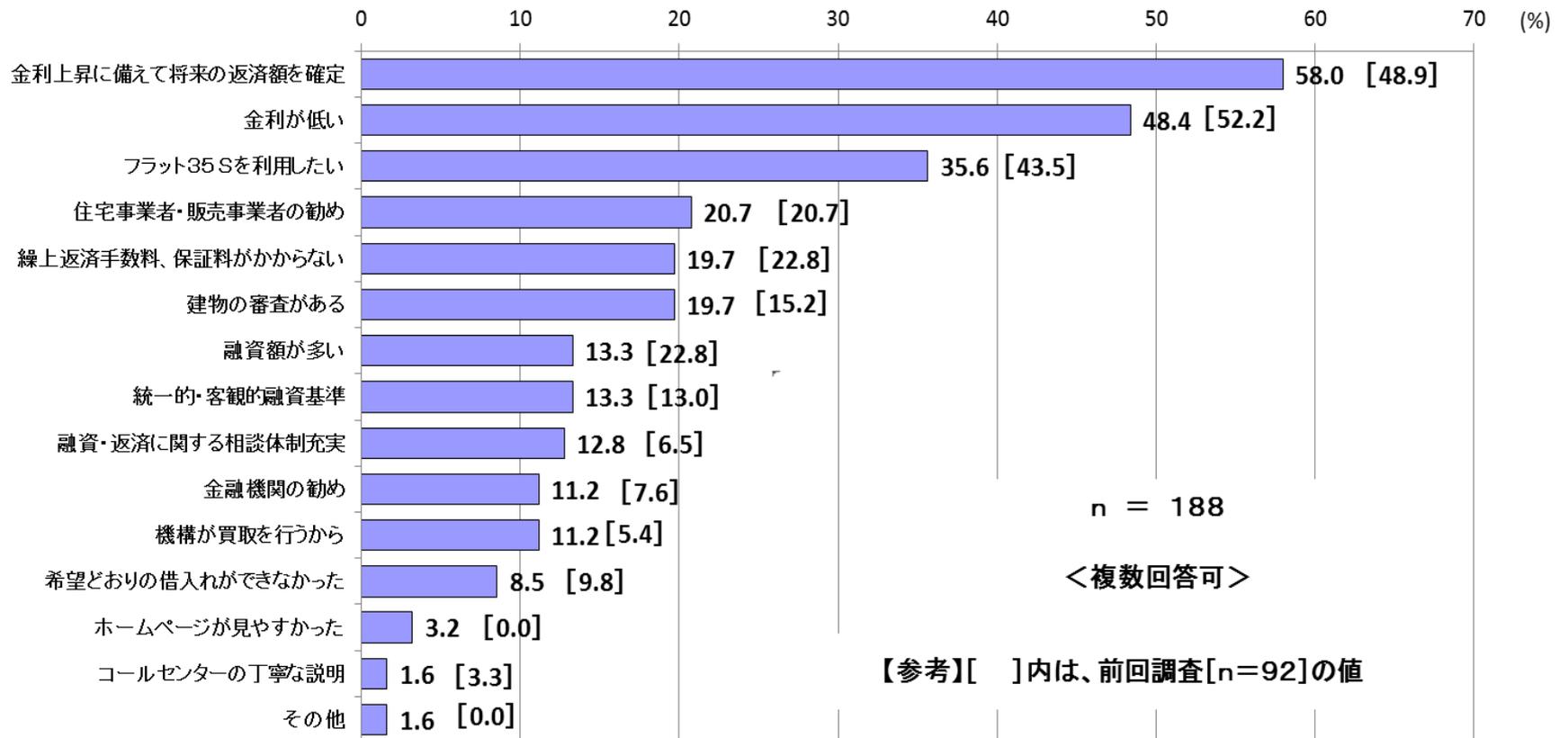


(参考)前回調査のベスト3	
住宅ローンに関する情報	87.5
住宅ローン返済額に関するシミュレーション	62.5
購入(建設)を検討する物件情報	50.0

4. フラット35を利用した理由

○ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が前回調査(48.9%)を上回り58.0%と最も高く、次いで「金利が低い」(48.4%)、「フラット35Sを利用したい」(35.6%)となっている。
 ※【フラット35】Sエコの金利引下げ幅拡大(当初5年間の年率▲1.0%(被災地)、▲0.7%(被災地以外)):23年10月以後申込、12月以後の資金受取分から適用

フラット35を利用した理由

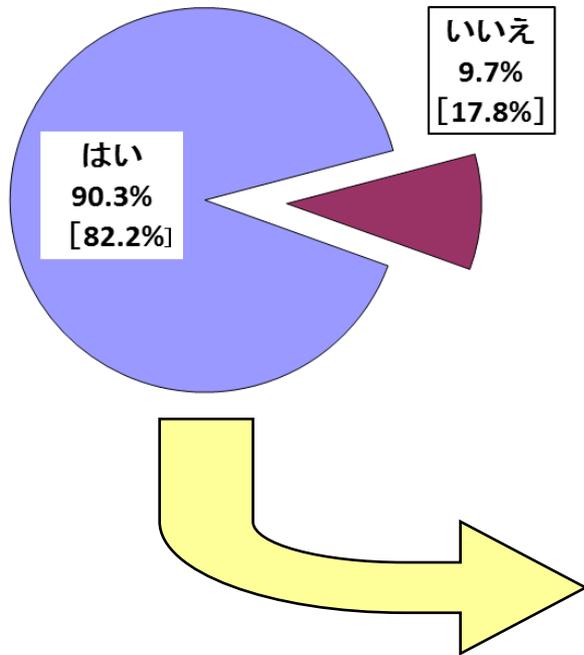


5. フラット35の認知状況(民間住宅ローン利用者全体)

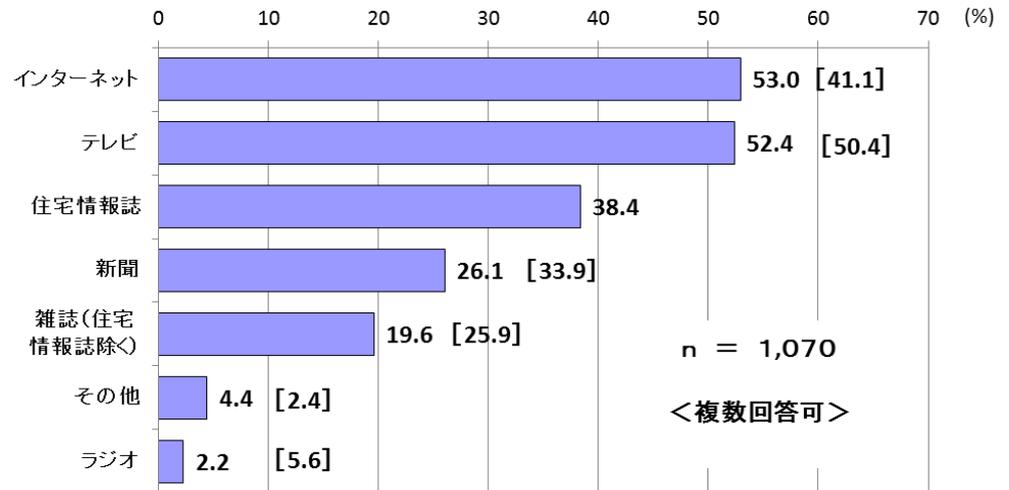
- フラット35の広告や情報を見聞きしたことがある方は、全体の90.3%と前回調査を上回った。
- 見聞きしたことがある広告や情報の媒体は、「インターネット」が53.0%と最も高く、次いで「テレビ」(52.4%)、「住宅情報誌」(38.4%)となっている。

フラット35の広告や情報を見聞きされたことがありますか(n=1,185)

【参考】[]内は、前回調査[n=657]の値



見聞きされたフラット35の広告や情報の媒体は何ですか。

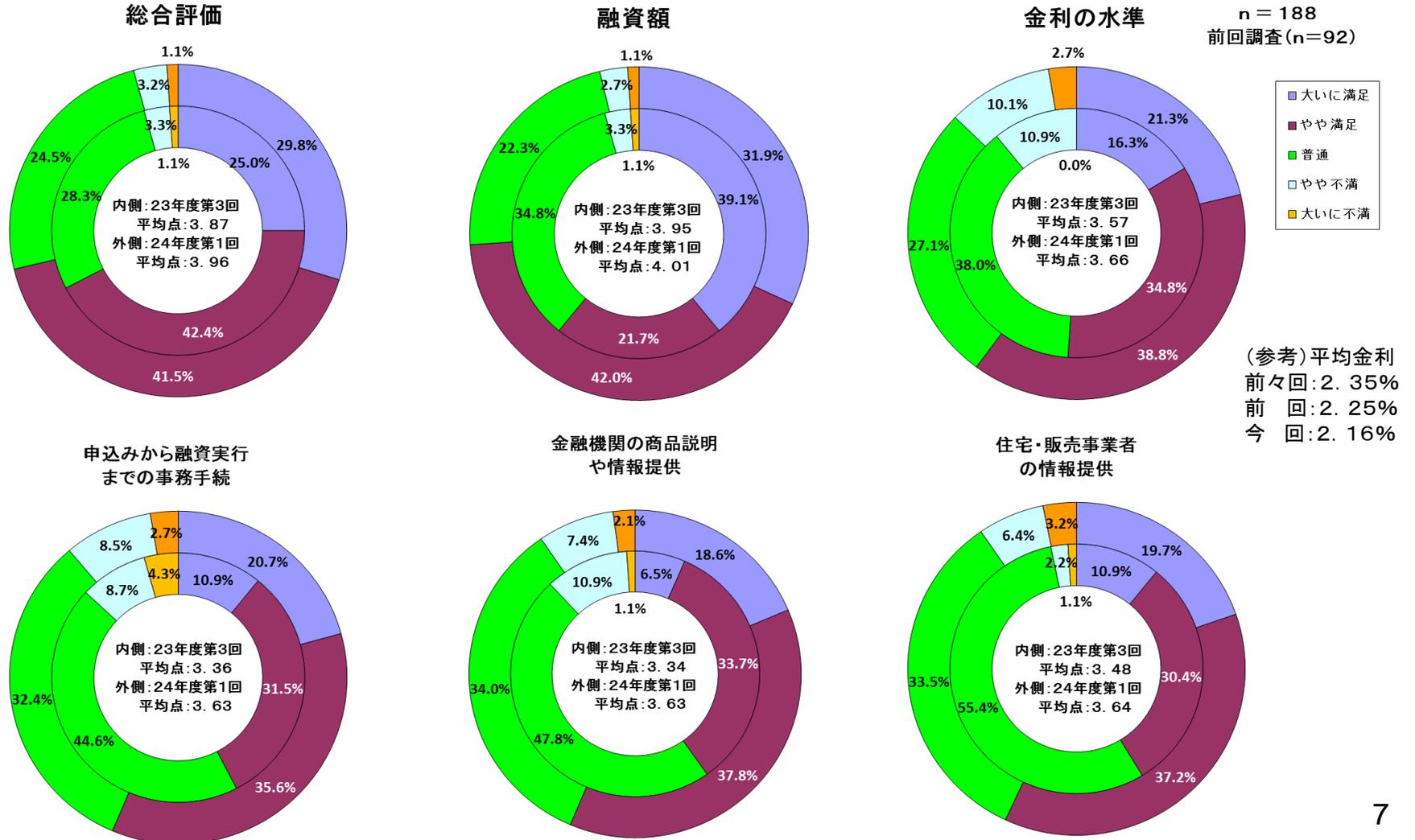


【参考】[]内は、前回調査[n=540]の値。なお、前回調査にあっては、住宅情報誌は「雑誌(住宅情報誌除く)」に含まれる。

6. フラット35に対する満足度

○ フラット35に対する総合評価は、「大いに満足」+「やや満足」が71.3%、平均点では3.96と前回調査(3.87)を上回った。また、項目別に見てもすべての項目で満足度(平均点)が前回調査を上回った。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点



【参考】 回答者の基本属性
【フラット35利用者】 n=188

項目		サンプル数	構成比(%)
年齢	20歳代	36	19.1
	30歳代	95	50.5
	40歳代	39	20.7
	50歳代	18	9.6
世帯年収	400万円以下	23	12.2
	400万円超～600万円以下	70	37.2
	600万円超～800万円以下	44	23.4
	800万円超～1000万円以下	23	12.2
	1000万円超～1500万円以下	22	11.7
	1500万円超	6	3.2
地域	首都圏	74	39.4
	東海圏	27	14.4
	近畿圏	31	16.5
	その他	56	29.8
住宅の種類	注文新築	98	52.1
	<うち敷地同時取得>	(42)	(42.9)
	注文建替え	12	6.4
	新築建売	17	9.0
	新築マンション	40	21.3
	中古戸建	10	5.3
	中古マンション	11	5.9
返済負担率	10%以下	27	14.4
	10%超～15%以下	50	26.6
	15%超～20%以下	40	21.3
	20%超～25%以下	38	20.2
	25%超～30%以下	23	12.2
	30%超～35%以下	10	5.3
	35%超～40%以下	0	0.0
	40%超	0	0.0

注： 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外